

変わらなきゃいけない時!

公共施設の維持に多額の費用がかかるため、見直しが始まりました。私たちが利用する施設もたくさんあります。

何を残して何を無くすのか。

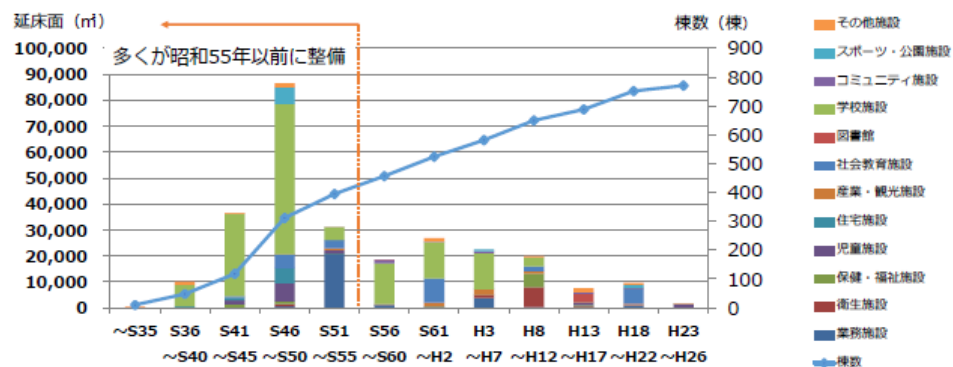
市民も一緒に考えよう!



↓市のタウンミーティングの資料から

昭和55年以前に整備された公共施設が多く、修繕や更新などしていくためには多額の費用を要することが予測されます。

公共施設の整備時期



個別計画も必要だが、地域の生活を支える視点から、従来通りでなく、施設を有効に使えるように変革を!

一方向の意見収集でなく市民も行政も一緒に話し合える場があるとよい!



行政に望むこと

公共施設について市民の声が入る仕組みが無い

行政の情報を得ようとすると、“ホームページを見てください”と言われる

情報提供の方法は...



市の様々な計画等について、図書館に置いてほしいと依頼しているが、情報提供として市が積極的に動いて欲しい

皆の税金をどう使うか財政のことも考えながら、見直しをしないと!

知らない施設が多いもっとPRして活用できるようにしてほしい

現場で働く職員さんが利用者の声も聞きながら利活用について提案し、どんどん改善できるようにしてほしい

資料だけでは分からないことも、職員の話や実際に施設を見ることで分かることがたくさんある

自治会回覧や広報など市が出している情報はきちんと受け取ろう

市民も、普段使う施設がうまく使えているのか、関心を持ってほしい

～施設見学を終えて思うこと～



「君津の暮らしを考え隊」(問合せ先: 広報 齋藤みどり 54-3449)

Facebook ↓

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。

※知り隊ニュースのバックナンバーは市内8公民館にあります。

仲間を募集



君津の暮らしを考え隊

2021.9

知り隊ニュース No17

生きがい支援センターと君津勤労者総合福祉センターを見学してきました

公共施設の未来を考える!

しっかり見てきました!



令和3年度に入り、個別施設計画が続々と公表されています。私たちが利用する公共施設の方向性が記されていますが、読み解くのも大変です。

君津市が実施した「バランスシート探検隊」に参加した経験から、実際の施設を目で見て、職員さんの話を聞くことが大切だと思い、実際に見学に行ってきました。

会員の希望で選んだ生きがい支援センターは直営で君津勤労者総合福祉センターは指定管理制度で運営の違いがありました。

「直営」は、市が直接運営する。「指定管理制度」は、民間事業者等を含めた団体に管理・運営してもらう制度です。君津市では他に、文化ホール、内みのわ運動公園、コミュニティセンター等が指定管理制度で運営されています。

事前学習

各施設の個別施設計画、条例、施設カルテを読み、“何のために作られたのか”“経費はどれだけかかっているのか”“見直しの方向”を学び、疑問に思ったことを担当職員さんに事前に回答していただきました。

さあ、出発!



地図は「君津市保健・福祉施設個別施設計画」から転載し、君津勤労者総合福祉センターを追加しました。

